

て信仰を捨てて世の中に戻ってしまいます。しかし、神様は弟がお兄さんに勝利することを定めておられるのです！どのようにして可能になるのでしょうか？イエス・キリストの贖いによって、十字架を通してです！

あの使徒パウロもローマ書7章24節で、「私は、ほんとうにみじめな人間です。だれがこの死のからだから、私を救い出してくれるのでしょうか。」と、救われた後、聖霊のバプテスマを受けて後に告白しているのです。自分を見るならば、誰でも「みじめな人間です!」とパウロと同じように感じるでしょう。自分の行い、すべてが自分にかかっているように自分を見つめるならば敗北です。なぜなら私たちは失敗だらけだからです！しかし、イエス様を見上げるとき、十字架を告白するとき、イエス様を求めるときにペテロと同じようになります。ペテロは「イエス様信じます！イエス様ありがとうございます！」と海の上を歩き始めました。ところが、周りを見て、波や嵐や雨風に目を向けると沈みそうになりました。そして、もう一度イエス様に目を向けたときに、サッと引き上げられて、また海の上を歩くことができるようになったのです。私たちもイエス様を見つめ、十字架を告白して、イエス様に祈り求めるならば、勝利することができるようになるのです！アーメン！

カインとアベル

カインはアベルに対して、妬みと怒りを持ち殺してしまいます。私たちの「肉の性質」、最初に生まれた私たちの中にある古き人は、この新しい人、キリストの性質、霊の人を憎んで何とか滅ぼそうとしていることを見ることができます。イサクとイシュマエルの場合、イシュマエルは長男として生まれ、その後イサクが生まれましたが、イシュマエルはイサクをいじめました。ですからいじめの問題は新しい最近の問題ではなく、大昔に起きていた問題です。私たちの古き人はいつも新しい霊の人をいじめ、「おまえはダメだ、弱い、何もできない」といつも告発します。ですからあなたの心にそのような思いが浮かんでくるなら、それはイシュマエルからの思いです。絶対にそのような声に耳を傾けてはいけません。アブラハムがイシュマエルとお母さんのハガルを家から追い払ったように、その声を拒んで追い払わなければなりません！

エサウとヤコブ

エサウとヤコブの場合についても、「兄が弟に仕えるようになる」と預言されたことを信じましょう！あなたの中にある「霊の人」聖霊が、世の中に働いているあらゆる罪の性質に必ず打ち勝つようになるのです！私たちも人生において支配するものとなりますが、それは私たちの内にある、二度目に生まれ変わったイエス・キリストの性質によって、私たちは治める者になることができるのです。

エリアブとダビデ

兄のエリアブは、ダビデが人々と話しているのを聞いた。エリアブはダビデに怒りを燃やして、言った。「いったいおまえはなぜやって来たのか。荒野にいるあのわずかな羊を、だれに預けて来たのか。私には、おまえのうぬぼれと悪い心がわかっていて。戦いを見にやって来たのだらう。」 I サムエル記17章28節

ここでエリアブの中に、弟ダビデを軽蔑する性質を見ることができます。そしてエリアブは他のイスラエルの軍隊と同じように、グリヤテが出てくると怖がって逃げていきます。しかし、ダビデの性質は「このイスラエルをなぶる、無割礼のペリシテ人とは何者か!」という、恐れない、勝利者の心と信仰です。このダビデの性質を神様が私たちにも与えてくださっているのです。生まれ変わった新しい人の中にはイエス・キリストの性質が宿っています。あなたがイエス・キリストを信じ、生まれ変わっているならば、あなたの中にも素晴らしい

力と使命が与えられています。私たちはエリアブのような肉の古い性質に慣れてしまい、肉の声に支配されて、みことばや神様の力、自分を否定し、日本にリバイバルが来るということも否定して惑わされてしまいます。しかし、私たちはそうであってはなりません。神様のご計画はお兄さんに打ち勝つことです！

マナセとエフライム

創世記41章51節、52節にあるように、ヨセフは自分の子供マナセに「忘れる」、エフライムには「実る」と名付けました。この名前には大切な原則があります。お兄さんがヨセフにしたこと、ポティファルの妻が自分にしたこと、献酌官長の夢を解き明かし、釈放されたのに自分のことを忘れてしまったことなど、ヨセフがこれらのことを覚えているかぎり、怒りがよみがえり、赦せない。しかし、神様の御手の中にすべての支配があることを認め忘れることによって、ヨセフは豊かな実りを体験することになりました。皆さん、忘れること、手放すこと、神様に委ねることが大切です！そして伝道による豊かな実、御霊の実を結びたいのです！しかし、イエス・キリストの性質に変えられなければできないのです。

創世記48章では、ヤコブの名前が変わって「イスラエル」になっていますが、父イスラエルが年をとって召される前、ほとんど目が見えなくなっているとき、ヨセフが二人の子供を父の元へ連れてきました。そして、エフライムを自分の右手にとって、イスラエルの手に向かわせ、マナセを自分の左手にとって、イスラエルの右手に向かわせました。右手には長男にふさわしい「より強い」という意味がありますが、どうして次男のエフライムを自分の右手において、長男のマナセを自分の左手においていたのでしょうか？それは、父イスラエルの右手の前に長男マナセが立つようになるからです。ヨセフは「長男の祝福は長男に」、「次男の祝福は次男に」与えられるように立たせたのです。しかし、イスラエルは右手を伸ばして、弟であるエフライムの上に置き、左手を長男であるマナセの上に置いたのです。マナセが長子であるのに、イスラエルは手を交差して置きました。ここに重要なポイントがあります。いつも長男(古い性質、肉の性質、罪、悪魔)は、「おまえはダメだ!おまえはできない!おまえは弱い!」と言って私たちをいじめますが、どのようにしてこれに勝つことができるのでしょうか？その勝利の秘訣は、イスラエルが手を交差して、右手を弟のエフライムの上に置いたように、交差して祝福の祈りをしたことにあります。交差するなかで私たちは何を見いだすことができますか？そうです！イエス・キリストの十字架を見いだすことができるのです！十字架無くして、私たちもお兄さんに勝つことはできません。どんなに善いことをしようとしてもできないのです。悪いことを止めようとしてもやってしまう。そのようなみじめな人生になってしまうのです。しかし、イエス・キリストに目を上げるとき、十字架を通してイエス様はすべての罪を赦してくださるという、すばらしい贖いの御業を備えてくださるのです。そして私たちは生まれ変わり、義の賜物が与えられ、罪に対して勝利することができるようになりますと信じることによって、交差の原則が働くようになるのです！ハレルヤ！

治める者となる

「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が、この世に生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。」 ガラテヤ2章20節

そうです！自分の失敗、自分の弱さを見るのではなく、お兄さんが語るいじめのことはに耳を傾けるのではなく、私の古い人、古い性質は、イエス・キリストが十字架で引き取って下さり、代わりに私に勝利を与え、王様になる特権を私たちに与えてくださったと信じるのです！イエス様に目を向けるなら、私たちは治める者になることができるのです！